

交通安全情報



H27.7.6
警視庁交通部

週末発生 都内において交通死亡事故多発!

※高齢者とは、統計上65歳以上をいいます。

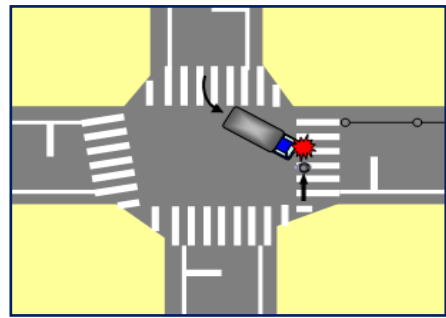
～都内の交通事故の状況～

先週末、交通事故の犠牲により5人の方が亡くなりました。

都内では、交通事故が急増し、7月5日現在83人の方が亡くなり、昨年の同じ時期に比べると13人多くなっています。

このうち高齢者は、26人と年齢層別で最も多く、特に75歳以上の方の死亡事故が増加しています。

7月3日(金)午後2時28分頃、豊島区内の裏通りにおいて、左折するトラックと横断歩道横断中の歩行者が衝突する事故が発生し、歩行者の女性(70歳代)が亡くなりました。

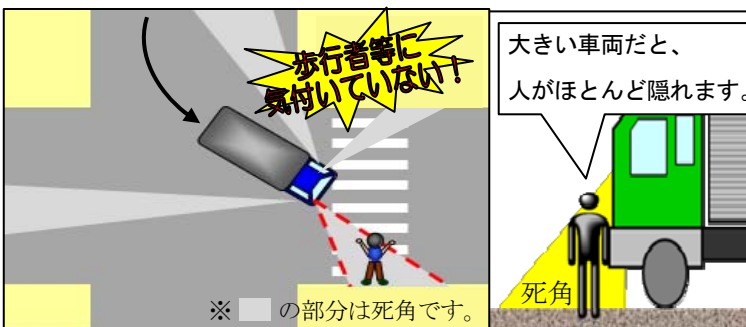


交通事故の当事者にならないために!

都内発生 of 交通事故のうち、横断歩道横断中に亡くなられた方は14人で、そのうち半分の7人は高齢者の方でした。(7月5日現在)

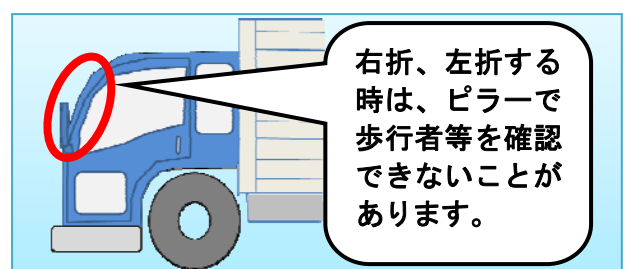


高齢者の皆さんへ



車両には**死角**というどうしても**見えない部分**があります。右折、左折してくるドライバーは、横断している歩行者や自転車の皆さんの存在に、**気付いていない**かもしれません。横断歩道を渡っている時も、車が近づいていないか周りをよく確認しましょう。

トラックドライバーの皆さんへ



歩行者等は**車両の死角**に入りやすくなります。「横断歩道やその付近には歩行者等がいるものと考え、ミラーだけでなく、目視の確認をすることで、確実な安全確認をしましょう。また、交差点右左折時は速度をしっかりと落としましょう。

※本件事故当事者の過失の有無、軽重に関わらず、事故類型の一般的なアドバイスを記載したものです。



「母さん助けて!」その電話大丈夫?

あわてず、必ず家族や警察に相談しましょう。